



紫雲児の心

いわゆる「ブラック校則」は全国的にも話題となり、昨年、県教委も県立学校に対して現状に合わないものは見直すよう通知を出しました。紫雲寺中学校でも生徒の意見を聞きながら（生徒会に意見の集約をお願いしました。）、見直しを進めていくことを10月の全校朝会で話しました。正式には、来年度初から、すぐに変えられるものは3年生がいるうちに新しいきまりを運用したいと思っています。



10月の全校朝会から 「なぜ勉強をがんばれたのか？」

校長 山田 清

最近、先生方から生徒の学習の様子について次のようなことをよく聞きます。

授業中の取組はますます（そうでない時やそうでない人も・・・）だけれど、それが結果（テストの点数など）に結び付いていない！学習に対する粘り強さが足りない！分からなくてもそのままで平気！ちゃんと身に付くまで努力しない！などの声です。

9月の定期テストの採点しながら先生方は、これらのことを強く感じたようです。勉強することへの必要感や意欲がそもそも低いのだと思います。私はこのことに危機感を感じました。自分の中学時代を思い返し、「なぜ勉強をがんばれたのか？」を全校朝会のテーマにすることにしました。

もともと単純な私は、中学時代「新潟で一番の高校に入る！」という目標を立て、結構勉強をがんばりました。この目標を掲げたのには3つの理由がありました。

【理由1】野口五郎似の生徒会長

中1の時の生徒会長が、私の目指す高校に入りました。中2の時、先輩からの話を聞く行事があり、野口五郎似（50年前のアイドル）の生徒会長がやってきました。とにかくかっこよくて、高校の話も魅力的で、自分もその高校に行きたい！と強く思いました。

【理由2】クラスのライバル

3年生の時のクラスに、だいたい私と同じくらいの成績の子が二人いました。定期テストや実力テストでは常にトップを競い合い、勝ったり、負けたり。負けず嫌いの私は、その二人のお陰でがんばり続けることができました。

【理由3】将来の夢

私には、将来大学に行って、鳥の研究者になりたいという夢がありました。鳥の研究ができる大学は限られ、レベルも高いために勉強をがんばる必要がありました。



テレビドラマ「ドラゴン桜」で主人公の桜木健二が「搾取されるだけの人間にならなければ、不満ばかり言う人生を送りたくなければ、お前ら勉強しろ！」とっていました。

私は縁あって関わった皆さんには、幸せな人生を送ってほしいと思っています。人をうらやみ、不平・不満ばかり言う人生は送ってほしくありません。皆さんの様子を見てると「もったいない！」と強く思ってしまう。勉強できる期間は短いのです。

◆ あこがれ

◆ ライバル

◆ 将来の夢

「お前ら、勉強しろ！」 少々、言葉は乱暴ですが、私も同感です。